

コミュニティスペースの運営

敷地内の古民家をコミュニティスペースに改築し、地域の人に貸し出せるようにしたい！

イベント運営

季節暮らしや里山暮らしを愉しめるようなワークショップやイベントを企画したい！小規模な音楽会・マルシェなどを開催し、色々な層の人たちがつながれる場所を作りたい。

ゲストハウスの運営

現在再築中のゲストハウスが完成したら自分たちの暮らしを体験してもらえたい！



我が町の協力隊

～今後の展望について～

さのしょう 佐野祥さん編

Q. 現在の活動のさらに先の展望について教えてください！



暮らしのコーディネート

パートナーが設計事務所を開業したので外装・内装だけでなく、暮らし全体＝ライフスタイルを提案できるようにしたい！



山林の植物で手仕事

染料や原料を採取し、機織りを再開したい。伝統を受け継ぎ、持続可能なものづくりを目指したい。ワークショップを開いて、手仕事が好きな方とつながりたい。

里山の恵みで加工品作り

敷地の果樹や竹林などを活用し、保存食・瓶詰め・燻製・炭…色々作りたい！海外を回っていたときに会ったおいしいレシピも応用してみたい。それらをコミュニティスペースで販売したり、ゲストハウスの宿泊客に振る舞いたい！



3回に渡り、佐野隊員の活動や夢についてお届けしました。いかがだったでしょうか？

次号からは横山隊員特集です！

8月の活動報告

佐野

- 田んぼ関連
草刈り、草取り
- ゲストハウス関連
焼杉作り、外壁
- 手仕事関連
葛布ワークショップ参加、柿渋作り
- イベント関連
WS & 音楽会企画準備
- マイクロアートワークショップ
旅人（芸術家）受入れ

横山

- 移住定住
移住セミナー講演、移住希望者や店舗の相談
- 地域
地域の生活水源タンク掃除、盆踊り練習会、獣害檻（おり）設置手伝い
- 交流田んぼ関連
電気柵設置、落水溝掘り
- マイクロアートワークショップ
旅人（芸術家）受入れ

松葉

- 商品開発関連
クラフトビール準備（仕込み手伝い・ラベル貼・瓶詰め）、ブルーベリー商品販促、とうもろこし加工品開発
- 広報関連
森町地域おこし協力隊新聞編集作業
- マイクロアートワークショップ
旅人（芸術家）受入れ

岩瀬

- 移住定住相談
移住希望者や店舗の相談
- 空き家の調査
天宮、森の住宅
- 空き家利活用推進
旧レコード店改修、鍛冶島交流拠点
- 関係人口創出
とうもろこし加工品開発
- マイクロアートワークショップ
旅人（芸術家）受入れ

令和4年（2022年）

9月

第3号

メンバー紹介

地域おこし協力隊

佐野 祥

横山 春人

松葉 知香（パチカ）

移住コーディネーター

岩瀬 進哉

森町役場

定住推進課



僕と空き家

移住コーディネーターと空き家の話

2016年9月、縁あって僕は地域おこし協力隊員として森町に住むことになった。一目で住むことを決めた新町の空き家は、僕が住む十年ほど前までは、小饅頭や栗蒸し羊かんが評判の和菓子屋さんだったそうだ。内部は間口が狭く奥に長い典型的な町家の造りで、和菓子が並んでいただろう広めの土間と、その奥には和室が二間と台所が続く。脇には奥の水回りへと続く長い通り土間があり、そこには和菓子を作っていた調理場の名残があった。

住み始めて気になったのは歴史的な町家の壁や天井が改装されて、新しい建築素材で覆われていることだった。昭和の香りのする建築が大好きな僕は、新しい素材を剥がすところから改装を始めていった。天井を剥がしてみて驚いたのは、その中から松ヤニが輝いている厚い天井板が出てきたことだ。夢中になって天井を剥がした僕は、この家はきっと素敵になると確信し、かつて秋葉街道の宿場町だった森町に宿泊施設を作りたいと思うようになった。そうして完成したゲストハウス「森と町」には全国から旅人が訪れてくれるようになった。

森町には他にも多くの魅力的な空き家があり、それらを活用してこの町に小さな変化を起こすのが今の僕の仕事だと思っている。小さな変化の水滴が波紋のように広がって森町全体が変わっていく。それを信じて、地域の皆さんや、昨年設立した(一社)モリマチリノベーションの仲間とともに活動し、空き家を活用した新町の駄菓子屋「けーやランド」や天宮のカフェ「cafe flat」が生まれた。これからも町に小さな変化を起こし続け、縁あって住むことになった森町をもっと好きになっていきたいと思う。(第一部完)

岩瀬進哉(イワセシンヤ)・森町移住コーディネーター

地域おこし協力隊OB。現在はゲストハウス森と町店長。

一般社団法人「モリマチリノベーション」の理事。同団体で空き家の利活用やまちづくりに取り組む。



協力隊の貼り紙

作・絵
よこやまはると
横山 春人

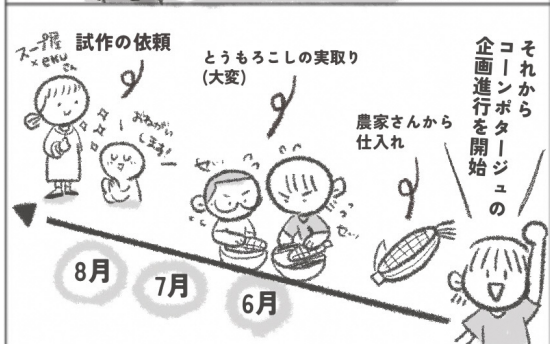
小さな夏祭り。地域で子供たちのためにアマゴのつかみ取りが行われました。地域の人たちが力を合わせてトンカン、できた小さな池。子供は、ばしやばしやアマゴを追いかけて、おじちゃんたちが炭で焼く。子供も大人も集まって、わはは、おいしいが飛び交う幸せな一日。移住して、うれしい夏の思い出ができました。



使った特産品の開発についてお届けいたします



衝撃を受けました



8月

7月

6月



これから先、どうなるかお楽しみに!

農家さんと試食会 今後について

現在 試作品を経て 商品の方向性も定まりました

地域おこし協力隊とは?

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年以上、3年未満です。

連絡窓口のご案内

森町役場 (定住推進課)

0538-85-6321

